



ビジネスプロジェクター EB-536WT かんたん操作ガイド

本書では、以下を説明しています。

- ・本機を使い始めるまでの準備
- ・投写して映像を補正するまでの基本操作
- ・インタラクティブ機能の概要



目次

同梱品を確認する・・・・・	2
本機を設置する	
本製品のマニュアルについて	
USB ケーブルでコンピューターと接続して投写する	
映像を補正する・・・・・	•••••• б
さまざまな機器と接続する	9
付属のアプリケーションを活用する	10
インタラクティブ機能	13
インジケーターの見方	

インフォメーションセンター 製品の操作方法・お取扱等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。 050-3155-7010

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969 へお問い合わせください。

サービスコールセンター 修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600

※上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949 へお問い合わせください。

エプソンのホームページ http://www.epson.jp 各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報 を満載したエプソンのホームページです。



412870300



本製品のマニュアルについて

本機には次のマニュアルが添付されています。本機を安全に正しくお使いいただくために、 添付のマニュアルをよくお読みください。



より詳細なマニュアルは、Document CD-ROM に収録されています。

『取扱説明書』(PDF)

CD 収納の マニュアル

本機の操作方法全般と、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、 お手入れ方法などを記載しています。

『EasyMP Network Projection 操作ガイド』(PDF)

EasyMP Network Projection の使い方を記載しています。 ネットワーク経由でコンピューターの画面を本機から投写できます。

『EasyMP Multi PC Projection 操作ガイド』(PDF)

EasyMP Multi PC Projection の使い方を記載しています。 ネットワークに接続したコンピューターやスマートフォンなどの画面を同時に4台まで本機から投写できます。

『Easy Interactive Tools Ver.3.0 操作ガイド』(PDF)

Easy Interactive Tools Ver.3.0の使い方を記載しています。 本機から投写したコンピューター映像上に文字や絵などを描画できます。

Document CD-ROM 内のマニュアルの見方



PDF をご覧いただくには Adobe Reader が必要です。

USB ケーブルでコンピューターと接続して投写する





映像を補正する



- ・映像の補正を行うと、Easy Interactive Pen で描画している位置と実際 に投写画面上に描画される位置がずれてしまうことがあります。映像の補 正は、Easy Interactive Penの位置合わせの前に行うことをお奨めしま す。
- ロール式スクリーンなど、たわみやすいスクリーンに投写すると映像が大きくゆがみます。表面がフラットなパネルタイプのスクリーンをお使いください。

映像のサイズを変えたいときは

【ワイド】【テレ】ボタンで映像サイズを調整します。



映像のサイズは本機とスクリーンの距離によっても変わります。

下図の値は、ズームを最大にしたときの最短投写距離の目安です。ズームの状態や設置条件により、下図の値よりも映像のサイズが小さくなります。カッコ内の値はレンズ中心からスクリーン下端までの距離です。 詳細は、『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」をご覧ください。

16:10







映像を反転したいときは

映像が上下反転しているときは、リモコンの【A/V ミュート】ボタンを約5秒間押し続け、 設置モードを切り替えます。 設置モードの詳細は、『取扱説明書』「いろいろな設置方法」をご覧ください。



また、本機には映像を一時的に左右反転する機能(ミラーモード)が備わっています。 初期設定では、リモコンの【ユーザー】ボタンを押すたびにミラーモードが実行 / 解除 されます。

ミラーモードの詳細は、『取扱説明書』「映像を左右反転する(ミラーモード)」をご覧 ください。





さまざまな機器と接続する

DVD プレイヤーや VHS ビデオなどの映像機器、USB メモリーや書画カメラなどの USB 機器からの映像を投写するときは、下図のように接続します。



付属のアプリケーションを活用する

付属のアプリケーションを使うと、ネットワーク経由で投写したり、インタラクティブ機能 をより活用したりできます。用途に合わせてお使いください。 ※ 無線 LAN を使って接続するときは、オプションの無線 LAN ユニットが必要です。



[EPSON Projector Software] CD-ROM

EasyMP Network Projection と EasyMP MultiPC Projection が 収録されています。

EasyMP Network Projection を使うと、ネットワーク経由で コンピューターの画面をプロジェクターから投写できます。 また、ネットワーク上のプロジェクターを共用できます。

EasyMP MultiPC Projection を使うと、ネットワークに接続 したコンピューターやスマートフォンなどの画面を同時に 4 台まで本機から投写できます。

 複数の資料を切り替えて投写する (EasyMP Network Projection)



 複数の資料を同時に投写する (EasyMP Multi PC Projection)



タブレット端末(iOS または Android のみ)の画面を投写するときは、Epson iProjection をダウンロードします。Epson iProjection は App Store または Google Play から無料でダウンロードできます。

- ※ IOS は Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンス に基づき使用されています。App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
 ※ Android、Google Play は、Google Inc.の商標です。
- 参考
- ・[接続モード]を[かんたんモード]に設定しているときは、初期状態のパスフレーズが設定されています。初期状態のパスフレーズが設定されている場合は、EasyMP Network Projectionを使うときにパスフレーズの入力を省略できます(初期状態のパスフレーズは非公開です)。
 ☞【メニュー】ボタン [ネットワーク] [無線LAN] [接続モード]
 - ・Epson iProjection を使うときは、事前に任意のパスフレーズに変更してからお使いください(8文字以上、63文字以内の半角英数字のみ)。
 【メニュー】ボタン 「ネットワーク] 「セキュリティー] 「パスフレーズ]



[EPSON Projector Software for Easy Interactive Function] CD-ROM

Easy Interactive Tools Ver.3.0、Easy Interactive Driver Ver.3.0 が収録されています。

Easy Interactive Tools Ver.3.0 をインストールすると、描画した図形の拡大縮小をしたり、描画した画面を保存したりできます。OS X をお使いの場合は、Easy Interactive Driver Ver.3.0 もインストールする必要があります。

『PenPlus for EPSON 電子黒板』CD-ROM



PenPlus for EPSON 電子黒板が収録されています。 書き順を記録したり、スポットライトのように投写画面の 一部のみを表示したりと、教育現場で便利な機能を使用で きます。詳細は、『PenPlus for EPSON 電子黒板 CD-ROM』 に収録されている取扱説明書をご覧ください。 「PenPlus for EPSON マニュアル.pdf」

なお、PenPlus for EPSON 電子黒板は、Windows のみ対応 しています。OS X で描画アプリケーションを使用するに は、上記の『EPSON Projector Software for Easy Interactive Function』CD-ROM に収録されている Easy Interactive Tools Ver.3.0 を使用してください。

インタラクティブ機能

インタラクティブ機能は、以下の3つのモードがあります。 ここでは各モードを使い始めるまでの流れを説明しています。



投写映像に描画する (アノテーションモード)



ホワイトボード画面に描画する (ホワイトボードモード)



投写画面からコンピューターを操作する (マウス操作)

目次

Easy Interactive Pen の使い方	14
Easy Interactive Pen への電子ペン延長キットの取り付け方 …	15
ペン位置合わせ(自動位置合わせ)	20
描画する(アノテーションモード / ホワイトボードモード)…	21
投写画面からコンピューターを操作する(マウス操作)	22
描画とマウス操作の切り替え	23
ペン操作エリアの手動調整	23

Easy Interactive Pen の使い方

Easy Interactive Pen は 2 種類あり、ペン後方部の色が異なります(オレンジと青)。ペン後方部の色が異なるペンは、2 本同時に使用できます。

お使いになる前に電池(1本)をセットしてください。

交換用の電池は以下のいずれかを使用します。

・単3形マンガン乾電池



eneloop® ※ (HR-3UTG/HR-3UTGA/HR-3UTGB/BK-3MCC)
 ※ eneloop® はパナソニックグループの登録商標です。





5 Easy Interactive Pen にホルダー(下)を取り付け、ホルダー(下) のツメをペンのストラップ穴に掛けます。

















■ 電子ペン延長キットを取り外す

1 ホルダー(上)を親指で押してホルダー(下)から外します。



2 Easy Interactive Pen を①の方向に回して、アームからペンを引き 抜きます(②)。

Easy Interactive Pen を①の方向に回すと、ストラップホルダーからホルダー(下)のツメが外れます。



<mark>3</mark> Easy Interactive Pen からホルダー(上)を外します。



ペン位置合わせ(自動位置合わせ)

以下のときにペン位置合わせを行います。

- ・Easy Interactive Pen を初めて使用するとき
- ・投写映像の補正やプロジェクターの移動などでペン位置がずれてしまったとき

本体上面にある【A/V ミュート】ボタンを約3秒間押し続けます。





環境設定メニューから自動位置合わせを開始することもできます。 [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [自動位置合わせ]を選択 してください。



完了するまで、しばらく時間がかかります。 パターン映像の投写中は、投写光の中に入らないようにしてください。



自動位置合わせに失敗したときは、エラーメッセージが表示されま す。手動位置合わせを行ってください。 ☞『取扱説明書』「電子ペンを使う」

描画する(アノテーションモード/ホワイトボードモード)

アノテーションモードでは、Easy Interactive Pen を使って、コンピューター、タブレット端末、 書画カメラなどから投写した資料に注釈を書き込めます。重要なポイントを強調したり補足を 書き込んだりして、効果的な授業やプレゼンテーションを実現できます。

ホワイトボードモードでは、ホワイトボードのような無地の背景が投写され、その上に Easy Interactive Pen で文字や図形を描画できます。

Easy Interactive Penの電源をオンにして、投写画面に近づけます。
 投写画面にツールバータブが表示されます。

2 [🜒] または [🕨] ツールバータブを押します。

ツールバーが表示されます。ツールバーが表示されたら、Easy Interactive Pen を使って投写画面上に書き込みができます。

ツールバーの詳細は『取扱説明書』「インタラクティブ機能を活用する」をご覧くだ さい。

3 ツールバーで各モードのアイコンを押します。

アノテーションモード:

[] を押すと、投写画面上に次のようなツールバーが表示されます。



ホワイトボードモード: []] を押すと、次のようなホワイトボード画面とツールバーが表示されます。



投写画面からコンピューターを操作する(マウス操作)

USB ケーブルでコンピューターとプロジェクターを接続すると、投写画面上でコンピューターを操作できます。コンピューターのマウスと同じようにクリックやドラッグ&ドロップなどができます。





2 プロジェクターからコンピューターの映像を投写します。

3 環境設定メニューの [拡張設定] から、[USB Type B] の設定をします。



- •コンピューターケーブルを使用して投写しているときは、[Easy Interactive Function] に設定します。
- ・USB ケーブルのみを使用して投写しているときは、[USB Display/Easy Interactive Function] に設定します。



描画とマウス操作の切り替え

アノテーションモードまたはホワイトボードモードでの描画とマウス操作を、以下のいずれ かの方法で切り替えられます。

- ・リモコンの【ペンモード】ボタンを押す
- ・Easy Interactive Pen で投写画面上のペンモードアイコンを押す

アノテーションモード / ホワイトボードモードからマウス操作へ切り替えるには、 【 🖉 】を押し、表示された【 🕒 】を選択します。



マウス操作からアノテーションモードに切り替えるには、 【 🖉 】を押し、表示された【 🖉 】を選択します。



ペン操作エリアの手動調整

マウス操作中に Easy Interactive Pen の位置と実際に操作している位置がずれているときは、 操作エリアの手動調整を行います。

環境設定メニューの [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [マウス操作] の [詳細設定] - [操作エリア手動調整] を選択してください。

詳細は、『取扱説明書』「電子ペンを使う」をご覧ください。

インジケーターの見方

■:点灯 通 :点滅 回:消灯

□ : 本機の状態により異なる場合

□ 正常動作時のインジケーターの状態

	スタンバイ	しを押すと投写を開始します。
	ウォームアップ中	し を押しても反応しません(約 30 秒)。
青青	投写中	通常動作中です。

□ 異常 / 警告時のインジケーターの状態

内部異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依 頼してください。
ファン異常 センサー異常	
内部高温異常 約5分間そのままの状 態で待ち、電源プラグ をコンセントから抜き ます。	次の2点を確認してください。 ・壁際に設置しているときや、エアフィルター または排気口がふさがる場所に設置している ときは提示を移動します
高温警告	・エアフィルターの掃除または交換をします。
ランプ異常 / ランプ点灯失敗	次の2点を確認してください。 ・ランプを取り出して、割れていなければ再セッ トして電源を入れます。ランプが割れている ときはお買い上げの販売店または表紙に記載 の連絡先にご相談ください。 ・エアフィルターを掃除します。
ランプ交換勧告	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。
オートアイリス異常	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上 げの販売店または表紙に記載の連絡先に修理 を依頼してください。
電源系異常	

※ 上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店また は表紙に記載の連絡先に修理を依頼してください。